チアガールの餌食

作＝ど～も

「めぐみ」と「真理恵」は、都内の某私立高校に通う1年生。
クラスでも「可愛いっ！」と評判のチアリーダーである。
でも、そんな2人には周囲には言えない、もう一つの側面が・・・。
そう、この2人、「変態盗撮魔」を退治する事で収入を得る、
なんとも風変わりな「アルバイト」に夢中なんです！

そして、今日は年に1度の、全国高等学校チアリーダー選手権！
「こんな稼ぎ日は他にないでしょ！？」
という事で、ヤバイくらい張り切ってますよ・・。（完全出来高制だし）

「お前さぁ～、自分がやった事、悪い事だって分かってんの～？」
私は右足を上げて、少し薄汚れた白いスニーカーの爪先で、男にチンチンを”ツンツン”と軽く突っついた。

「・・・・」

男は、まだ、核心部分を証していない。

もう、私と真理恵（横にいる）から、計８発の金蹴りを喰らってんのに、生意気に我慢してやんの・・。ちょっとムカつく・・。

そうそう。私の名前は、”鷹田めぐみ”。見ての通り、部活は”チアリーダー”やってる。

横にいるのは、友達の真理恵だよ。この子もチアリーダー。

でさ～、私ら、今、西側の倉庫にいる。

・・で、今縛ってんのが、盗撮男。でもね・・、コイツが強情なんだ・・。だから、金蹴り喰らわせて白状させてる所・・。

「そう。まだ分からないんだぁ～。じゃぁ～、二度と悪さが出来ないようにお仕置きするしかないわねぇ」

私、面倒くさい事するの嫌いなの。だから、金蹴り喰らわせて、力ずくでも白状させる方が楽

だし、好き。

もちろん、男は抵抗するよ・・。

「やっ、嫌だっ！　も、もう勘弁し・・」

ってね。

でもさ～、そんなの一々聞いてないよ。こんな男に人権なんてないし・・。

だから、命乞いなんて無視無視。

な～に、もう２～３発喰らわせれば白状するって・・。

だってさ～、チアガールの脚力って知ってる？　私らが本気になったら、一撃で”廃人”だよ。

こんな男。

「うるせ～よ！　この変態っ！　おらっ！」

ざくっ！

「おえっ！　ゲホッ！　うっ、うぅぅ・・・あぁ・・」

「気絶すんの、まだ早え～よ。」

「メグちゃん・・、スニーカーの爪先じゃぁ、効き過ぎちゃうよ・・。私が蹴る前に金玉、無くなっちゃいそう・・」

「へ～き、へ～き。おらっ！　もう一発ぅ！　えいっ！」

ふぉぐぅ！

「あ、あぁ・・あ・・。お、おね、お願い・・、ゆ、許して・・・。」

「キャハハァ☆　超ウケるぅ。こいつ、もう限界なんだぁ～。ねえねえ～、今度は私が蹴っていいでしょぉ？」

「じゃぁ、今後は真理恵の番だよ。」

「やりぃ～！　ほ～らっ！潰してあげるぅ！　え～いっ！」

どすぅ！

・・って、まだ言ってなかったよね。

私たち〝変態カメラ小僧を一掃するバイト〟してるの。

こういうさ～、大きなパレードとか、チアの大会になるとぉ～、変な男がいっぱい来るでしょ？

ハァハァ言いながら。

だからね。私たちが、そ～いう変態どもを退治してる訳。

でもさ～、ただ単にボコったって、直ぐに立ち直っちゃうでしょ？

・・だ・か・ら、二度と悪さが出来ないように、タマタマを潰しちゃうの。

えっ？　タマタマ？

ん？　男の金玉の事だよ。あれさえ潰しちゃえば、二度とエッチな事できなくなるでしょ？

・・・そうそう。ちなみに、金玉を一個潰すと２０００円。完全出来高制だから、頑張らないとね・・。

・・・と、その時。真理恵の黄色い声が・・。

「きゃぁ～！　汚～い！　なんか、変な汁が付いた～！　・・しかも赤いし」

ん？　・・って、見たら、男が出血しちゃったみたい・・。真理恵のスニーカーに血が付いてるし。あ～あ、ルーズにまで斑点みたく飛び散ってるし・・。

「はは～んっ。血ぃ、出しやがった～。こいつ、きっと、血が出るくらい真理恵に蹴られて感じたんだよ」

少し不機嫌そうな真理恵をカラかったりもしてみる。

そしたらね。

真理恵が・・

「やっぱりぃ～。・・そんじゃぁ、もっと強烈なのアゲルね☆」

だって。真理恵らしいや。

「せ～の！　えいっ！」

グチャァアッ！

「キャッ！　やだ～、潰しちゃったぁ～。」

・・って、真理恵ったら、本当に潰しちゃった・・。

「あ～あ。こいつ、金玉潰れて、気絶しちゃったじゃ～ん・・。もうっ、真理恵、強く蹴りすぎぃ・・」

「てへへ・・。ゴメ～ン、メグちゃん・・。私、自分がチアリーダーって忘れてた・・」

「・・って真理恵。あんた確信犯でしょ？」

「へへっ・・。バレたぁ？」

・・て、笑ってる場合じゃないわよ！

「次行くよ！　真理恵！　何が何でも、今日中に二万円稼ぐんだからっ！」

「は～い☆」

そして、私らの”金玉狩り”は続くのでした・・。